

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【**島根県**】

学校名【**島根県立松江清心養護学校**】

1 実践テーマ	①・II・III・IV・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	島根県立松江清心養護学校 中学部2, 3年生 6名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間、学校行事) ② 行事名 (清心フェスティバル2019に向けて)
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに関して疑問に思ったことを挙げ、インターネット等を用いて調べてまとめることができる。 ・調べたことや自分の役割を意識しながら、発表をすることができる。
5 取組内容	<p><事前></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックや、身近なスポーツであるボッチャについて、生徒から疑問に思ったことを聞き、その項目に沿ってインターネット等で調べ学習を行い、プレゼン資料にまとめた。 また、清心フェスティバルのステージ発表に向けて、セリフにまとめる等を行い、発表練習を行った。



	<p><当日 10/25></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が自分の役割を意識しながら、調べたことを堂々と発表することができた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><事後 10/29></p> <ul style="list-style-type: none"> ステージ発表の様子をビデオで見ることで、自分の発表の様子やできたことを改めて実感することができた。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 自分の力でやりきったことに対し、達成感や充実感を感じていたことが、事後学習の発言やフェスティバル後の様子から伺うことができた。 ボッチャをさらに上手になりたいとの思いをもち、県内のボッチャのスポーツ大会に出場する生徒もいた。
7実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒達が調べたことを学習発表の場で発表するにあたり、自分自身の言葉として観客に伝えられるように工夫したこと。 他クラスの生徒の実態を考え、学部全体で統一感のある構成にしたこと。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> 肢体不自由のある生徒のため、調べたりまとめたりすることに時間がかかることを想定し、余裕をもって学習計画を立てたが、それでも時間ぎりぎりだったこと。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では未定だが、ボッチャをはじめスポーツ大会への情報提供を行っていく予定である。